

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子どもの学ぶ意欲、自己肯定感、成就感、所属感を高めながら、「明日も来たくなる学校」にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを「惹き込む」授業づくりを推進して、前のめりな姿を引き出し、達成感と自信を高めながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自尊感情を高め、それぞれの良さを発揮し認め合いながら学校生活を楽しめるようにします。 ・学校内外ですすんで人と豊かにかかわりながら、所属感、協働性、貢献の意識を高めます。 ・規範意識と適正な状況把握力・判断力を育て、学校生活の安全・安心を高めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
学び生かす 人権・特別支援	①「傾聴」「受容」と「指導の工夫」ですすめる特別支援教育・人権教育の充実 ②「多様性」を認め合い「他者意識」を涵養する児童の障害理解教育・人権教育・国際理解教育の推進 ③コンサルテーション、他機関連携を活用したスクリーニングと指導方法の工夫 ④障害特性に応じた指導、職員の人権意識の向上のための研修の実施・資料提供 ⑤個々の困り感に応じて選択できる、学びの場の拡充と、児童・保護者への周知・発信
担当	特別支援人権 教育部会

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

- ・ささいな要因から児童間トラブルが発生しやすく、短絡的に、感情と粗野な言動とが直結しやすい。
- ・明るく屈託ない言動が多く見られ、親和的な集団が形成できる一方で、心ない中傷やからかいも数多く発生する。
- ・「違い」の受容には多くの課題がある。受容性、共感性を高めることは継続課題である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

- ・生活目標への落とし込みと指導
- ・チームでの課題共有と指導共有の促進
- ・区人権教育実践校としての基調提案と積極的実践
- ・実生活との結びつき、展開後段の充実、態度化・実践化を大切にされた道徳の授業づくり
- ・コンサルテーション・外部機関による研修の実施